様式５－１

　　　　　　　　　　　　　復職支援プログラム終了報告書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　９年　１０月１５日

　　　愛知県教育委員会　殿

津島市立藤小学校長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　○　　○　○

令和　９年　４月２８日付けで承認を受けました復職支援プログラムが終了しましたので、その計画書及びその記録を添付し、下記のとおり報告します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 職　氏名 | 教諭　　尾張　あまね |
| プログラム  実施期間 | 令和　９年　５月１７日(月)～　　９年　１０月　１４日(金)  実施日数計　１０５　日 |
| 病 名 | 抑うつ状態 |
| プログラム期間 の本人の状況 | 全期間を通して予定時刻の１５分前に出校した。生活リズムはしっかりしている。身だしなみは清潔でこざっぱりしている点には変わりは無い。几帳面な性格は変わらないが、冗談を多く言うようになった。児童へも「おはよう」「さようなら」と自分から声を掛けることができた。学校外で趣味を通じての友人が増えたのも、対人間関係の好転に影響したようだ。仕事に対しては熱心なためについつい時を忘れてのめり込むこともあるが、その遂行能力は高い。  むしろ心地よい疲労感によってぐっすり眠ることができ、以前のように不眠で悩まされることは無いと言う。  無遅刻･無欠勤でプログラムを完遂できた。これは本人にとっても大きな自信になっているようだ。 |
| プログラムを終えての学校長の意見 | 以前の症状はほとんど見られなっている。  今後は「執務内容は加重とならないようにする」などの配慮は必要であるが、プログラムを最後まで完了できたので、復職は十分に可能であると判断する。  なによりも本人の復職意欲が強い点に期待したい。 |
| プログラムを終え  ての主治医の意見 |  |

　※プログラム期間の本人の状況については、以下の事項を記入してください。

　　①基本的な生活状況（生活リズム・身だしなみ等）

②他人との交流状況（同僚職員との関係・児童生徒との関係等）

③精神的な活動状況（業務への関心・復職への意欲）

④本人からの訴え（身体面の疲労・精神面の疲労等）

⑤業務実施状況（教科指導・児童生徒指導・学級運営等）

⑥その他